

14 公共牧場機能強化等体制整備事業

【令和4年度予算概算決定額 80（118）百万円】

＜対策のポイント＞

公共牧場・試験場等が有する広大な草地や高い技術力のフル活用により、省力的かつ低コストで優良な和牛を増産するための取組を支援します。

＜事業目標＞

繁殖雌牛の飼養頭数の増加（61万頭〔平成30年〕→80万頭〔令和12年まで〕）

＜事業の内容＞

1. 機能強化等に係る計画策定

農業者団体等による強化計画の策定のために行う検討会開催、現地調査等の取組を支援します。

2. 公共牧場機能強化等体制整備

農業者団体等による強化計画に基づき行う繁殖雌牛等の導入、施設・機械、放牧地の整備等を支援[※]します。

※ 繁殖雌牛等の預託受入頭数を拡大し優良な和牛の増産に資する取組も強化計画の対象とします。

公共牧場は全国に688施設。地方公共団体所有が3分の2、JA等所有が3分の1。

＜事業イメージ＞

繁殖雌牛等の導入（自己保有牛）

公共牧場・試験場等

肥育素牛・繁殖雌牛

人工授精

放牧地の整備

黒毛和種の受精卵移植

肥育農家

繁殖農家

酪農家

肥育素牛

繁殖雌牛

分婭監視用カメラ

哺乳ロボット

増頭のための畜舎・機械整備

受精卵用機器の整備

＜事業の流れ＞

国 定額、1/2以内 農業者団体等